

青森県建設産業ビジョン

真に豊かな 21 世紀のロマンあふれる
「輝くあおもり新時代」の担い手を目指して

青 森 県

～ 青森県建設産業ビジョン目次 ～

はじめに.....	P 1
第 1 章 青森県の建設産業の動向	P 3
1 . 建設市場をめぐる国の動向	P 3
(1) 構造改革の影響	P 3
(2) 国内建設投資の推移	P 4
2 . 青森県の建設産業の動向	P 5
(1) 青森県における建設産業の役割	P 5
(2) 経済と雇用から見た建設産業の現状	P 7
(3) 県内建設投資の推移と建設企業の動向	P10
3 . 青森県の建設業就業者の現状	P15
(1) 建設業就業者の年齢構成の現状	P15
(2) 建設技術者の現状	P16
(3) 労働条件の現状	P17
4 . 青森県の建設産業を取り巻く環境	P20
(1) 公共投資への依存	P20
(2) 価格競争の実態	P21
(3) 県外建設企業の受注状況	P22
(4) 財務の実態	P23
(5) 倒産の状況	P25
第 2 章 青森県の建設産業の課題	P27
1 . 縮小する建設投資	P27
2 . 厳しさを増す財務状況	P28
3 . 技術力の不足	P28
4 . 優れた人材の確保・育成	P29
5 . 過剰感増す建設企業数	P30
6 . 今後成長が見込まれる新たな市場への対応	P31

第3章 青森県の建設産業の進むべき将来像 P37

1. 未来力あふれ、県民に信頼される経営力と技術力を有する産業 . P38

- (1) 経営の環境順応性の向上 P38
- (2) 財務体質の強化 P42
- (3) 技術力の向上 P44
- (4) 優れた人材の確保と育成 P47
- (5) 企業連携の可能性 P50

2. 新たな風を興すフロンティア精神あふれる産業 P52

- (1) リフォーム・リニューアル市場への進出 P52
- (2) 環境関連市場への進出 P53
- (3) 福祉関連分野への進出 P53

3. 地域力を耕し地域を輝かせる産業 P55

- (1) 地域産業への支援 P55
- (2) 安心して暮らせる地域づくり P56
- (3) 地域生活に対する支援 P56

第4章 青森県建設産業の経営改善等に向けた環境整備 P58

1. 経営改善等の取組に対する支援とインセンティブの付与 P59

2. 建設産業の原点である「ものづくり」を支える力をいかす環境の整備
..... P60

3. 地域社会を担う建設産業をはぐくむ環境の整備 P61

おわりに P62

青森県建設産業ビジョン策定関係者名簿 P63

資料編

はじめに

私たちの青森県は、悠久の歴史の歩みの中で、先人の残した世界文明の貴重な文化遺産、三内丸山遺跡に代表される数多くの遺跡が示すように、縄文のいにしえより、自然と人間が共生した豊かな国原「北のまほろば」の中心でした。また、十三湊など北方世界の環境に根ざした独自のすばらしい歴史や文化に恵まれており、世界の火祭り「青森ねぶた」を始めとする、先人から受け継いだ多様な祝祭や伝統芸能を生み出しています。

そして、下北半島、津軽半島、白神山地や八甲田山などの豊かな青い森が広がり、北に津軽海峡、東に太平洋、西に日本海と三方を海に面し、中央には、陸奥湾という内湾を抱き、日本列島で最も日の出がきれいな小舟渡海岸を始め、ハマナスや菜の花美しいはまなす海岸、赤々と燃える夕日が映える西海岸など、変化に富む約 745 km の長く美しい海岸線を有している、自然美しい、四季折々の魅力にあふれるふるさとです。

私たちの歴史と文化をはぐくんできたこのかけがえのない豊かな自然を、将来にわたって保全し、次代を担う子供たちに引き継いでいかなければなりません。

私たちは、これらの豊かな恵みを知的創造資源としていかし、文化観光立県の推進、農林水産業を軸とした新たな産業構造の構築、地域の視点に立った福祉日本一の実現などを進めることで、現代に生きる私たちはもちろん、次の世代にも誇り得る青森県らしい青森県を築いていかなければなりません。

本県は、全国 8 位という広い県土に、青森市、八戸市、弘前市の 3 市を中心とする各都市圏が分散し、それぞれ個別に生活圏を形成するという他県に見られない多極分散型の地域構造となっています。このような構造は、これからの時代においては各地域の個性を輝かせ、互いの有機的な交流・連携を通じて、県全体さらには広域ブロックや我が国全体の新たな活力を創造することが期待されます。

また、本県は環日本海諸国と環太平洋諸国とを結ぶゲートウェイとして、産業、流通、情報、文化、学術など多様で高度な機能の集積を図り、“ほくとう日本”の発展を先導する北の拠点地域としての役割を担うため、我が国の多軸型国土の構築を担う津軽海峡軸の形成を目指しています。

今日の隆盛の礎となった先人が築き上げてきた努力の跡をたどってみると、三内丸山遺跡では居住域、大型掘立柱建物等の配置に規則性が認められ、また大型竪穴住居跡が検出されており、現代風に言えば、「縄文の都市計画」が存

在していたことや、三内丸山人は想像以上の土木建築技術を持っていたことがわかってきています。藩政時代末期には、新渡戸一族による三本木原台地の遠大な開発計画が着手され幾多の困難に遭いながらも用水堰である稲生川を開通させたことが、その後の大規模な新田開発に結び付いていますが、これには土木技術の貢献があったことは言うまでもありません。

このように、土木・建築は縄文のいにしえより今日まで地域づくりに重要な役割を果たしてきたことが明らかになっています。

また、自然美しい魅力あふれる青森県ではありますが、記憶に新しい平成6年の三陸はるか沖地震を始め、これまでに多くの自然災害が発生し、県民生活や社会経済に大きな影響を与えてきましたが、土木建築関係者の不眠不休の作業と努力を得て、迅速な復旧が図られてきています。

現在の建設産業は、国の構造改革や長引く不況に伴う建設投資の縮小など厳しい環境にあります。県内総生産や就業者数でも大きな割合を占める本県の経済と雇用を支える主要な産業です。また、全国36位の道路改良率や同31位の下水道普及率が示すように、本県の社会資本整備はいまだ十分の水準とはいえ、県民が豊かで潤いのある生活を送る基盤づくりのためにも、建設産業が健全で活力を有することが重要です。

そのため、県では、本県の建設産業がこの厳しい状況に対応するための経営改善策等の基本的方向を提示する「青森県建設産業ビジョン」を策定し、建設企業の自助努力を促すこととします。

本県のかげがえのない豊かな自然の将来にわたっての保全、次の世代にも誇り得る青森県らしい青森県の構築、各地域の有機的な交流、我が国の多軸型国土の構築を担う津軽海峡軸の形成など、新青森県長期総合プランで目指す、真に豊かな21世紀のロマンあふれる「輝くあおり新時代」の担い手として、建設産業は大きな役割を期待されています。

～ 青森県建設産業ビジョン策定の目的 ～

- 1 青森県の建設産業の現状を体系的に整理し、課題を把握する。
- 2 青森県の基幹産業である建設産業の経営改善策等の基本的方向を提示し、建設企業の自助努力を促す。
- 3 青森県の建設産業に係る各種施策の方向性を明らかにする。
- 4 青森県の建設産業界が自ら考え、自ら行動するための指針とする。

～ 青森県建設産業ビジョンの計画期間 ～

平成14年度	ビジョン策定
平成15年度～18年度	ビジョン推進